

型わく支保工が崩壊し、重大災害に！

— 仮設機材の取扱いは慎重に！ —

☆ 石巻労働基準監督署は、下図の速報を発行しました。そのままお届けしますので現場指導の参考にして下さい。(「重大災害」とは一時に3名以上が被災したものを言います。)

重大災害発生速報

『軽量支保工の型わく組立作業中、崩壊し、4人が負傷!』

災害発生年月日：平成22年6月23日(水)午後1時55分頃発生

業種：建築工事業 被災者：4名 職種：型わく大工

被災状況：調査中

発注者：市発注 事故の型：崩壊倒壊 起因物：材料?型わく支保工?

<災害発生状況>

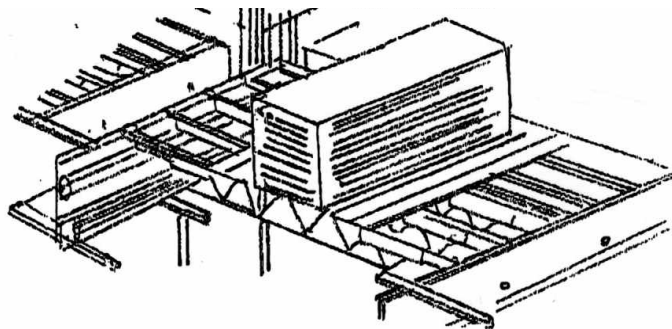
本件、軽量支保工の型枠組立作業中、突然、「バリバリ」と音がして、RFスラブが崩壊し、当該スラブ上にいた作業員(2名)もろとも高さ約3.5m下の3Fスラブ上に墜落した模様。

被災者は3F上にいた2名を含めて4名。本日調査中。

最大荷揚げ荷重? kg

<考えられる災害原因>

当署で調査中



※ 図は発生状況とは関係ありません。

<取り急ぎ、考えられる対策を挙げますので参考にして下さい。>

- ① 材料の仮置きにあたっては、予め荷揚げ場所を定め、その箇所の最大荷揚げ許容荷重を指定し、指定された荷重を遵守すること。
- ② できるだけ、材料を分散して仮置きするよう計画すること。